

発行

2016

9/30

まつもと 公民館報

シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 27

特別名勝・特別天然記念物に指定されている 上高地で「山の日」記念式典を開催

上高地の魅力は…

8月11日に16番目の国民の祝日として、「山の日」が誕生しました。世界で初めての山に関する国民の祝日に、国内外から注目が集まっています。

第1回「山の日」記念全国大会は岳都松本で開催され、上高地バスターミナルで行われた記念式典には、皇太子ご一家もご臨席されました。

上高地登山案内人組合の中野隆夫さん（島々）は、「上高地は、風の香りと空気の匂いが魅力だ」といいます。山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日、信州の山に囲まれた生活を見つめ直す機会にしたいですね。

山を元気に！山を元気に！

里山を守り将来を見越した人材育成を

寿さと山クラブ

新たに国民の祝日「山の日」が制定されました。岳都を掲げる松本市においても、さらに山に親しむ契機として期待が持たれます。その裏では、里山を整備しその技術を将来に継承すべく活動している人びとの努力があります。

クラブ発足の経緯

江戸時代頃から近年まで牛伏川は暴れ川で、10年ごとに氾濫による水害を繰り返してきました。かつて周辺の山は乱伐が続き、森の保水力が著しく低下したためです。

このままではいけない、以前のような里山を取り戻すに



は山に飛び込み、整備する必要がある。これに共感した地元会員により、平成11年に寿公民館の協力のもと「寿さと山クラブ」が発足。鉢伏山中腹の寿財産区有林内にある寿さずなの森をベースに、平成14年からは地区活動団体として活動しています。

森林整備の活動

里山を再生するには、山林の奥深くまでにおよぶ生態系を学習した上での作業が必要です。

参加者は山林の間伐や伐採などの技術・経験を、幼い頃から有する地元住民でしたが、長く実務から離れていた人もおり、市や県の専門部署に指導を仰ぐなど勉強を重ね、チェーンソーなどの機材を使う作業を実施してきました。

希望者には、本格的な森林整備作業や、技術研修もあり、山の手入れ方法、森林についての学習もしています。

地域への啓発活動

クラブの活動は、単に会員がボランティアで山の整備をしているだけでなく、春の里山散策、寿さの講座、野外観察を楽しく学習する寿こども自然観察会などもあります。

毎年7月に開催される、きずなの森フェスティバルは、子どもたち約140人を中心に500人以上も集まる盛大なイベントとして定着しています。

寿小学校では、教科のなかに、自然の大切さや自然との向き合い方などを盛り込んだ里山体験学習も行われています。

また、市内の小中学校などの要請で、会員が授業に出向く機会も増えてきています。

今後への期待

今、全国的に林業は国策としての変革

期にあり、かつて建築界を席巻した安価な輸入材ではなく、日本産の木材（カラマツなど）が注目されています。しかし、森林の間伐や里山整備は、五十年・百年先を見据えた活動が必要です。子ども達の頃クラブで活動した人たちが、時を経て林業に携わったり、新たに活動に参加したりする人たちも増えてきています。地区以外の方も会員になれます。



世代へと永く続いていって欲しい。山を守る心は人の心も育んでいくと信じています」と語っていました。

松本さんぽ

県内初の田んぼアート

信州・まつもと大歌舞伎関連事業「二人桃太郎記念田んぼアート」が9月30日まで開催しています。中村勘九郎さんの2人の子どもの初舞台を記念して行われた田んぼアートプロジェクト。まつもと歌舞伎実行委員会が約70アールの田んぼを借りて、中村屋の初舞台には欠かせない「門出二人桃太郎」と十八代目中村勘三郎さんが大事にしてきた演目「鏡獅子」が描かれています。



(2016.9.1 撮影)

他市の方がビックリ どこの公民館にもピアノがある！

以前、県内他市で合唱をやっている方が、「松本市はいいね。どこの公民館に行ってもピアノがある。私たちはピアノがある練習会場を確保するのがとても大変」とうらやんでいました。そこで現状や導入の経緯を調べてみました。

◆ほぼ全館にありました

松本市35地区公民館のうち32公民館にピアノがありました。他の地区も隣接の福祉ひろばなどのピアノを利用してのことです。

◆ピアノ導入に市民の協力
導人の経緯を調べてみると



童謡唱歌・歌うモノミの練習風景 (中央公民館)

意外なことが分かりました。地区公民館のピアノは、一部中央公民館などからの移管の他は、ほとんどが市民の皆さんなどから寄贈されたピアノでした。

◆大事に使われているピアノ
寿台公民館での童謡唱歌の会「野菊の会」の練習に伺うと会の始まる前に会員さんがピアノカバーの綻びを修繕していました。話を伺うと「自分たちが利用するものだから自分たちで出来ることはやろう」と話していました。



ピアノカバーの綻びを直す (寿台公民館)

◆見えてきたこと
高価なピアノが寄贈というかたちで地区公民館に設置されたという事は驚きです。地域の文化活動の拠点としての公民館活動に市民の厚い支援があつてこそなしたくないことではないでしょうか。

写真でつづる まつもとの今昔③〇 ～大名町～



(1997.7 写真提供：日本報道写真連盟)
大名町の横断歩道をルーズソックスの女子校生が渡る。鶴林堂書店の1階は外にも雑誌類が並んでいた。



(2016.8.29 撮影)
ビルが撤去された後は、発掘調査により大手門の石垣跡も発見されて、大手門枡形跡広場となっている。

おこひる

山の日に思うこと

8月11日に山の日が制定された。国民の休日が増えたのは海の日以来の20年ぶりだとか。何はともあれ、祝日が増えたことは嬉しい限りである。山の日が由来の理由は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」とのこと。今年には残暑が厳しく、暑い日が続いた。幾つもの台風が発生し日本各地にさまざまな災害をもたらした。情報化の世の中で各地の様子は知らされる。収穫間近の野菜や果物が無残な姿で映し出される。どこの道でもどこまでが川なのか分からない、増水により壊された家々など、その様な光景を見るたびに松本は自然災害の少ない場所だと改めて思う。アルプスが守ってくれているんだと：▼松本の市域も拡大し、全域ではないものの、その大半は松塩水道用水である。奈良井ダムの水で山水の一番搾りである。河川流域の他の自治体の処理水ではない。だからうまい。これも山の恩恵である▼今まで当たり前であり考えた事がなかったが、改めてこんな松本で暮らせることが幸せだと感じた。

地域探訪

歩まっつ松本!

30

松原の公園をめぐるお散歩コース

松原地区は13年前に、市内で30番目の地区として誕生しました。今回は3コースの中から、住宅街を歩く約2.5キロメートルを歩いてみました。

家と庭とのコラボレーション

松原中央公園に隣接する松原地区公民館を出発し、松原古道と呼ばれるなだらかな坂を西へ下ると、整然と並ぶ家と工夫を凝らした庭が迎えてくれます。珍しい斑入りの蛇の目松や、オープンガーデンなど、手入れの行き届いた庭は家屋と一体になりひととき目を引きまします。近くには北公園があり、公園の遊具の手入れも行き届いていて、滑り

地名の起源の松林

北公園から東へ進むと緩やかな登り坂です。住宅街を南北に走る道路は平坦で、東西に走る道路は勾配がありまします。西に延びる道路の先には、北アルプスやまびこドームがよく見えました。左手の細い道に入ると、松原という地名の起源となった松林が見えてきました。住宅街を歩きながら涼やかな空気を感



じた一画でした。松林を後にし南へ進むと東公園、そこから西へ下って回り込むと、南公園に出ました。どちら



松原モールのアーチから見えるからくり時計

松原地区のシンボル

の公園も広い敷地と豊かな緑に恵まれ、住民の憩いの場となっていることが感じられます。

南公園近くの松原町内公民館から広い通りを北へ向かうと、右側に西洋庭園を思わせる緑色の鉄のアーチが現れました。松原モールと呼ばれる商店街です。赤い円錐屋根が印象的なからくり時計は松原のシンボルです。このモールの突き当たりが中央公園で、小川やマレットゴルフのコースが整備されています。毎年7月には地区の大きな行事である夏祭りが行われ、住民の拠点となっています。ウォーキング中、出会う人があいさつを交わしている姿を何度か目にし、温かさを感じました。薔薇の花をはじめ、たくさんのお花が咲き誇る初夏に、また歩いてみたいコースです。

わがまち自慢 第12回 四賀コンサート

「四賀コンサート」は、昭和60年9月16日の四賀村合併30周年記念事業の一環として開かれた、県民コンサートが始まりました。

このコンサートは、平成16年に松本市に合併後も続き、今年9月3日で31回目を迎えました。

四賀混声合唱団の合唱には、初回から松本交響楽団が出演しています。その他に、虚空蔵太鼓、会田中学校吹奏楽部の演奏に小中学生の合唱などがあります。

世界的バイオリニストの天満敦子さんも出演され、それをきっかけに四賀で毎年天満さんのコンサートが



行われるようになりました。そして、昨年第30回を記念して、天満敦子さんを村長とする「松本市四賀音楽村」が発足したことは自慢の一つです。

地産地消のかんたんレシピ

酢で後味さっぱり 「きゅうりとトマトのゴマ酢和え」 酢の味で食欲進進!!

材料: キュウリ、トマト、ごま、砂糖、しょう油、塩、酢

- 1. きゅうりは輪切りにして水にさらす
2. トマトは1.5cm程度に切る
3. 砂糖・酢・塩・しょう油を合わせてタレを作る
4. きゅうりとトマトに、ゴマと3を加えて和える

